

令和 8 年 7 月 1 日  
報道発表資料

川崎市(環境局・建設緑政局)

## 川崎市内で特定外来生物であるクビアカツヤカミキリを初めて確認しました

6月26日に発表いたしました、市内で発見された特定外来生物に指定されているクビアカツヤカミキリの可能性が高い幼虫について、同定のため遺伝子解析を行っている途中ですが、6月30日、宮前区の菅生緑地（宮前区水沢1丁目3）で新たに、クビアカツヤカミキリ(成虫)を確認いたしましたので、本件をもって市内で初めてクビアカツヤカミキリが確認された事例として御報告いたします。

引き続き、市内でクビアカツヤカミキリが確認される可能性がありますので、クビアカツヤカミキリやフラスを発見した際には、川崎市環境局総務部企画課（電話：044-200-3720）まで御連絡いただきますようお願いいたします。

- 発見場所 菅生緑地（宮前区水沢1丁目3）
- 発見日 6月30日
- 発見の経緯  
市主催の造園技術研修の一環で現地研修中に、参加者が発見



市内で確認されたクビアカツヤカミキリの成虫

- クビアカツヤカミキリについて
  - ・クビアカツヤカミキリの成虫を発見した場合には、その場で踏みつぶすなどして駆除に御協力ください。また、幼虫が木の中に生息している場合、フラスを発生することがあります。成虫やフラスを発見した際には、川崎市環境局総務部企画課（電話：044-200-3720）に御連絡いただきますようお願いいたします。
  - ・本種は特定外来生物に指定されていますので、生きたまま移動させたり、飼育したりすることは法律で禁止されています。違反した場合には罰則が設けられていますので御注意ください。
  - ・クビアカツヤカミキリの特徴は、体長が2～4cmで全体は青みを帯びた黒色、つやつやとした光沢があり、前胸部の背中側が赤くなっています。
  - ・クビアカツヤカミキリは人体に直接危害を与えることはありませんが、サクラやウメ等の樹木に産卵し、幼虫による樹木への食害があるため、樹木内部の被害が大きい場合には枯れてしまうことがあります。

問合せ先

（クビアカツヤカミキリに関すること）

川崎市環境局総務部企画課 内田 044-200-2385（内線 29301）

（公園の管理に関すること）

川崎市建設緑政局緑政部みどりの保全整備課 谷口 044-200-0349（内線 40802）

## 川崎市内で特定外来生物であるクビアカツヤカミキリの可能性が高い 幼虫及びフラスが初めて確認されました

特定外来生物に指定されているクビアカツヤカミキリの可能性が高い幼虫及びフラス（幼虫の糞と木くずが混ざったもの）が、川崎市内で初めて確認されました。

クビアカツヤカミキリは、人体に直接危害を与えることはありませんが、幼虫による樹木の食害の恐れがあるため、今後本市では、被害に遭いやすいサクラやウメ等について、適宜、市管理敷地内の点検を実施いたします。

なお、クビアカツヤカミキリ（写真1）やフラス（写真2）を発見した際は、川崎市環境局総務部企画課（電話：044-200-3720）に御連絡いただきますようお願いいたします。

### 1 発見場所

宮前区内公園

### 2 経過

#### ・6月18日（木）

川崎市造園建設業協同組合会員様から、宮前区内のサクラの木において、クビアカツヤカミキリのものであると思われる幼虫及びフラスを発見したと通報がありました。

#### ・6月19日（金）

市職員が現地確認を行い、フラスの発生が確認されたサクラの木4本に対して、幼虫駆除のための薬剤処理を行いました。

#### ・6月22日（月）

発見していただいた川崎市造園建設業協同組合会員様の御協力により、クビアカツヤカミキリの可能性が非常に高いという情報をいただいておりますが、現在、本市においてもクビアカツヤカミキリの同定を進めています。

### 3 今後の対応

- ・クビアカツヤカミキリの好むサクラやウメ等について、適宜、市管理敷地内の点検を行います。
- ・併せて、市内造園・農業関係機関等に注意喚起を行い、関係者への周知依頼を行います。
- ・ホームページへの掲載や庁内施設への掲示等により、広く周知を行います。
- ・今回発見された幼虫について、本市におけるクビアカツヤカミキリの同定作業が完了いたしましたら、改めて御報告をいたします。

#### 4 クビアカツヤカミキリについて

- ・クビアカツヤカミキリの成虫（写真1）を発見した場合には、その場で踏みつぶすなどして駆除に御協力ください。また、幼虫（写真4）が木の中に生息している場合、写真2のようなフラスを発生することがあります。成虫やこのようなフラスを発見した際には、川崎市環境局総務部企画課（電話：044-200-3720）に御連絡いただきますようお願いいたします。
- ・本種は特定外来生物に指定されていますので、生きたまま移動させたり、飼育したりすることは法律で禁止されています。違反した場合には罰則が設けられていますので御注意ください。
- ・クビアカツヤカミキリの特徴は、体長が2～4cmで全体は青みを帯びた黒色、つやつやとした光沢があり、前胸部の背中側が赤くなっています。（写真1）
- ・幼虫が生息する樹木の幹や根本には「フラス」という糞と木くずの茶色の混合物が見られます。（写真2・3）
- ・クビアカツヤカミキリは人体に直接危害を与えることはありませんが、サクラやウメ等の樹木に産卵し、幼虫による樹木への食害があるため、樹木内部の被害が大きい場合には枯れてしまうことがあります。



写真1 クビアカツヤカミキリの成虫



写真2 クビアカツヤカミキリのフラス



写真3 クビアカツヤカミキリによる被害・フラス  
（写真は全て埼玉県環境科学国際センター提供）



写真4 クビアカツヤカミキリの幼虫

問合せ先

（クビアカツヤカミキリに関すること）

川崎市環境局総務部企画課 内田 044-200-2385（内線 29301）

（公園等の管理に関すること）

川崎市建設緑政局緑政部みどりの保全整備課 谷口 044-200-0349（内線 40802）